

学校保健委員会

令和5年7月14日

【テーマ】

『「心の変化を察知して、大切にしよう』』



【参加者】

- ・スクールカウンセラー
- ・校長
- ・養護教諭
- ・6年生
- ・5年生
- ・なかよし学級
- ・各担任

【内容】 司会：健康委員会

- 1, 開会
- 2, 学校保健員会についての説明
- 3, アンケート結果についての説明
- 4, スクールカウンセラー嶋村先生の講話
- 5, 閉会

ワークショップの中で、自分たち自身で、「自分の心」を見つめ、自分なりの「心」のありように気づきました。自分や他者の心を大切にできる行動につなげようという意識が高まりました。



ずっと昔は...ニンゲンは生きるために、外敵や天気(雨・風など)に対して不安や恐怖をすばやく感じて、戦ったり逃げたりする必要があった。今でも...小さい赤ちゃんでも人見知りがある。

恐怖や不安を感じるのは状況が「変化する」から。
ニンゲンは変化に弱い生き物。変化しないようにするために抵抗したり(戦う)、逃げたり、動けなくなったり(凍ったり)する。

・ニンゲン
・ニンゲンは...
集団作りに必要
自分の気持ちには
る。そして、それ
・「考えは言葉で伝えないと

理由2. 集団で生きていく生き物だから

・ニンゲンは生きるために集団を作って生活してきた。
・ニンゲンは、ニンゲン同士、お互いのことを考えることが集団作りに必要と知っている。
・自分の気持ちは言葉にしなくても表情態度で出していることがある。そして、それを知覚する力を持っていて。
・「考えは言葉で伝えないと伝わりづらい」